

JEITA/ECALGA標準書 (Ver2004A-Rev02) 改訂内容

編-頁	行	改訂前の内容(Rev01)	改訂後の内容(Rev02)	備考
-46	表中行番21 「要素の定義」	「データ作成時の適用条件(CBC、BC、BT、BA)やユニーク番号、運用取決め事項、本番・テストの区別を示すクラス。」	「データ作成時の適用条件(CBC、BC、BT、BA)やユニーク番号、運用取決め事項を示すクラス。」 (「本番・テストの区別」を削除)	別紙1
-46	表中行番32～34	記載なし	行番32～34を追記	別紙1
-46	表中行番34	「18004:テスト本番区分」は (必須項目)	「18004:テスト本番区分」は空白(任意項目)	別紙1
-46	表中行番34	「18004:テスト本番区分」の出現回数: 1	「18004:テスト本番区分」の出現回数: 0/1	別紙1
-215	18004:テスト本番区分 (コード定義書)	「1:テスト 2:本番」	「1:テスト 1以外:本番」	別紙2

< 別紙 1 >

(3) ビジネスドキュメントヘッダ、ビジネスドキュメント本体共通部の構造

ビジネスドキュメントヘッダ、ビジネスドキュメント本体共通部の構造を以下に示す。ビジネスドキュメントはヘッダと本体、本体は共通部と明細部に分けられ、それぞれの部分は複数のクラスで構成される。これらは階層構造の関係にあるため、表中の「BDの構成部分」「クラス No.」「項目 No.」に値を記載した位置がその階層関係を表す。

行番	BDの構成部分	クラス No.	項目 No.	要素名	必須	キー	CD	要素の定義	値の型	出現回数	BD部分
1	BD			ビジネスドキュメント				ビジネスドキュメント全体を表す。			
2		BDH		ビジネスドキュメントヘッダ				ビジネスドキュメントの先頭に付与される情報。全てのビジネスドキュメントヘッダのデータは同じフォーマットである。1ファイルで複数のトランザクションデータを送る場合に、ビジネスドキュメント本体は複数回繰返されるが、ビジネスドキュメントヘッダは1回しか登場しない。		1	ビジネスドキュメントヘッダ
3			C00001	BDデータ作成日時				BDデータを作成したタイムゾーンと日時を示すクラス。		1	
4			18040	BDデータタイムゾーン				BDデータ作成日、BDデータ作成時刻がどの国または地域の標準時間かを示すコード。なお、ビジネスドキュメントヘッダに存在する日付、時刻についても当BDデータタイムゾーンを適用する。	X(10)	0/1	
5			18041	BDデータ作成日				BDデータを作成した日付。	X(8)	1	
6			18042	BDデータ作成時刻				BDデータを作成した時刻。	X(6)	1	
7			C00002	送信者				データの送信者情報を示すクラス。		1	
8			18014	送信者コード		*		データを送信する送信者の企業名を示すコード。	X(20)	1	
9			18015	送信者コード管理組織		*		送信者コードを管理する団体を示すコード。	X(10)	1	
10			18016	送信者所属プロバイダコード		*		送信者が直接接続しているプロバイダを示すコード。	X(20)	0/1	
11			18017	送信者センタコード		*		データを送信する送信者のセンタを示すコード。	X(20)	0/1	
12			C00003	受信者				データの受信者情報を示すクラス。		1	
13			18018	受信者コード		*		データを受信する受信者の企業名を示すコード。	X(20)	1	
14			18019	受信者コード管理組織		*		受信者コードを管理する団体を示すコード。	X(10)	1	
15			18020	受信者所属プロバイダコード		*		受信者が直接接続しているプロバイダを示すコード。	X(20)	0/1	
16			18021	受信者センタコード		*		データを受信する受信者のセンタを示すコード。	X(20)	0/1	
17			C00004	ビジネスドキュメントの識別				ビジネスドキュメントの種類を特定するためのクラス。		1	
18			18035	ビジネスドキュメントの標準				本データのビジネスドキュメントの標準名。"JEITA"	X(5)	1	
19			18001	ビジネスドキュメントのバージョン				本データのビジネスドキュメントの版数。	X(14)	1	
20			18009	ビジネスドキュメントID		*		ビジネスドキュメントを特定するためにJEITAが付与した管理番号。	X(7)	1	
21			C00005	ビジネスサービス条件				データ作成時の適用条件(CBC、BC、BT、BA)やユニーク番号、運用取決め事項を示すクラス。		1	
22			18002	コンプレックスビジネスコラボレーションID		*		コンプレックスビジネスコラボレーションの型を特定するためにJEITAが付与した管理番号。	X(8)	1	
23			18003	ビジネスコラボレーションID		*		ビジネスコラボレーションを特定するためにJEITAが付与した管理番号。	X(7)	1	
24			18005	ビジネストランザクションID		*		ビジネストランザクションを特定するためにJEITAが付与した管理番号。	X(7)	1	
25			18007	ビジネスアクションID		*		本データのビジネスアクションを特定するためにJEITAが付与した管理番号。	X(8)	1	
26			18010	基本TPAの管理番号				基本TPAの管理番号。	X(34)	1	
27			C00006	ビジネスコラボレーション制御				ASPやB2Bサーバが、該当ビジネスコラボレーションを制御しステータスを管理するための情報。		1	
28			18008	カンパセションID				ビジネスコラボレーションインスタンスを特定するためビジネスアプリケーションが付与した管理番号。ASPまたはB2Bサーバで利用するキー。	X(64)	0/1	
29			18036	BC回答期限日				ビジネスコラボレーション制御の上で指定された回答期限の日付部分。	X(8)	0/1	
30			18037	BC回答期限時刻				ビジネスコラボレーション制御の上で指定された回答期限の時刻部分。	X(6)	0/1	
31			18038	BC制御意味コード		*		ビジネスコラボレーション制御の上で回答の意味を示すコード。	X(1)	0/1	
32			18039	BC制御理由コード		*		ビジネスコラボレーション制御の上で回答の理由を示すコード。	X(1)	0/1	
33			C00007	運用モード				ビジネスドキュメントのデータがテスト用か本番運用かを示すクラス。		1	
34			18004	テスト本番区分		*		本データがテストデータか本番データかを表す。当項目が省略された場合は、本番データとして処理する。	X(1)	0/1	

項目	項目名	最大長	共通コードの意味
00448	返品受諾区分	1	1：受諾 2：条件付き受諾 3：拒否 9：その他（別途協議）
00389	支給品返品受諾区分	1	1：受諾 2：拒否 9：その他（別途協議）
00403	支給品代納区分	1	1：代納要 2：代納不要
00412	支給品売掛・買掛区分	1	1：支給品買掛明細情報 2：支給品売掛明細情報
00430	返品代納区分	1	1：通常の注文 2：返品に対する代替納品の注文
00436	代納理由区分	1	1：不良 2：不足 9：その他
00438	返品受領区分	1	1：通常受領 2：数量違い
00448	返品受諾区分	1	1：受諾 2：条件付き受諾 3：拒否 9：その他（別途協議）
18002	コンプレックス ビジネス コラボレーションID	8	「 . JEITA/ECALGA解説編 4.2コンプレックスビジネスコラボレーションの一覧」参照。
18003	ビジネス コラボレーションID	7	「 . JEITA/ECALGA解説編 4.2コンプレックスビジネスコラボレーションの一覧」参照。
18004	テスト本番区分	1	1：テスト 1以外：本番
18005	ビジネス トランザクションID	7	「 . JEITA/ECALGA解説編 4.2コンプレックスビジネスコラボレーションの一覧」参照。
18007	ビジネス アクションID	8	「 . JEITA/ECALGA解説編 4.2コンプレックスビジネスコラボレーションの一覧」参照。
18009	ビジネスドキュメントID	7	「 . JEITA/ECALGA解説編 4.2コンプレックスビジネスコラボレーションの一覧」参照。
18014	送信者コード	20	「5.3企業コード」参照
18015	送信者コード管理組織	10	CII：(財)日本情報処理開発協会 電子商取引推進センタ 当面CIIのみとし、その他の体系を利用したい場合はJEITA/ECセンターへ問合せください。
18016	送信者所属 プロパイダコード	20	「6.3企業コード」参照
18017	送信者センタコード	20	「6.3企業コード」参照
18018	受信者コード	20	「6.3企業コード」参照